

中之島東洋陶磁美術館・

大阪地方裁判所を見学 活動報告書

担当 5 班

- ・実施日:2024年9月13日(金) 天候:晴れ
- ・参加者:65人
- ・集合場所:時間:大阪市役所正面玄関 10:00 集合
- ・行程:大阪市役所 ⇒ 中之島東洋陶磁美術館10:30~11:30 ⇒ 中之島公園(昼食)11:30~12:50
⇒ 大阪地方裁判所前集合(班長会議)12:50 ⇒ 裁判所内傍聴13:00~15:00自由解散

連日の猛暑にかかわらず多数のそら組メンバーが大阪市役所正面玄関前に集合。

午前中は、1982年11月に大阪市が設立開館した中ノ島東洋陶磁美術館を訪れ、世界第一級の質と量を誇る東洋コレクションを見学。各展示室では中国、韓国、日本の陶磁など代表的な作品約400件が系統的に紹介されていた。特に国宝 油滴天目茶碗(南宋時代・12-13世紀 建窯)の前では、大半の人が引き付けられ、しばらくその場に足を止めていた。

午後からは、大阪地方裁判所内で各自興味のある刑事事件などの裁判を傍聴。検察と弁護士の緊張感あふれるやり取りや裁判官から判決が言い渡された時の被告人の表情など日常見られない情景を目にした。



国宝 油滴天目茶碗(南宋時代)



展示室内



国宝 飛青磁花生(元時代)

所感 ・国宝 油滴天目茶碗 中国から渡って日本には3個しかない貴重なものを見てよかった。中が星空のように作られたものは美しい。

・午前中は東洋陶磁美術館で青磁のほんのりした淡い色に癒されました。午後は2件の刑事裁判の傍聴をしたのですが、日々この様な事件が起こっている事に心を痛めました。

・東洋陶磁美術館でびっくりした事は家にある焼き物とそっくりなものがあり、写真を撮っておいた。朝鮮の青磁が多かったように思った。裁判所に行き法廷では私語がダメで初めての裁判を見て緊張した。

・油滴天目に触れて、意外に重かった。3個あると言われる天目台が見たかった。木の葉天目は全部が見えず残念。裁判所は法廷ガイドを見ながらで良く解った。被告人のこれからが思いやられる。